

科名 泌尿器科  
 対象疾患名 根治切除不能な尿路上皮癌における化学療法後の維持療法  
 プロトコール名 バベンチオ

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	...	14
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓						
2	点滴注	側管	アセリオ	500mg	15分かけて	↓						
3	点滴注	側管	ネオレスタール	10mg	15分かけて	↓						
			生食	50mL								
4	点滴注	側管	バベンチオ	10mg/kg	2時間かけて	↓						
			生食	250mL								

★1クール=14日

～MEMO～

催吐レベル2(10%以上30%未満)

作用機序から他の免疫チェックポイント阻害剤(オプジーボなど)に比べてインフュージョンリアクションが多いため注意すること。

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用: 間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

生ワクチン、弱毒生ワクチン、不活化ワクチンとの併用により本剤のT細胞活性化作用による過度の免疫反応が起こる恐れがあるので併用には注意すること。